

平成 27 事業年度の業務実績に関する  
評価委員会における提言

和歌山県公立大学法人評価委員会

公立大学法人和歌山県立医科大学に係る平成27事業年度の法人の業務実績に対する評価及び指摘事項等について、和歌山県及び公立大学法人和歌山県立医科大学に対する各委員の提言を、下記のとおり取りまとめた。

今後、公立大学法人和歌山県立医科大学が、教育、診療、研究のそれぞれが適切なバランスのもとに発展されることを期待する。

## 記

- 学外実習対象施設での医学部臨床実習については、学生からの評価も反映するなど、今後、さらに実習の質の向上を図る取組が期待される。  
また、海外施設での医学部臨床実習については、より多くの学生が参加するような取組が期待される。
- 教員のFD（ファカルティ・ディベロップメント）への参加率が低いことについて、何らかの対策を講じられたい。また、大学院FD研修会については、開催回数の更なる増加を検討されたい。
- 大学院医学研究科において、国際学会発表数が減少傾向にあるので、国際学会への参加や発表を奨励する取組なども含め、何らかの対策を講じられたい。
- 助産師としての問題解決能力を有する人材を育成するために実施した学生へのアンケート調査の結果を踏まえ、教育内容の改善に向けて必要な対策を講じられたい。
- 基礎医学分野に進む医師が少ないことは長期的な課題である。基礎医学分野における研究体制の充実とあわせ、必要な対策を検討されたい。
- 「医学統計セミナー」や「臨床研究セミナー」を開催していることについては評価するが、論文作成時の統計解析に具体的な助言や補助を行うなど、それぞれの研究活動に応じたより実践的な支援策の検討が期待される。
- がん診療拠点病院として、疫学的な視点から和歌山県のがん医療にどのような貢献ができたか等について、長期的、広域的な視点からアウトカムについての具体的な評価を加えながら評価する仕組みの構築について検討されたい。

- 関西公立私立医科大学・医学部連合の設立を契機に、他大学や研究施設との共同研究、産学連携をより一層推進することにより、県民の健康増進と地域産業の振興に貢献されたい。
- 紀北分院において、附属病院本院の協力を得るなどし、適切に医師を配置されることが望まれる。